

島根発・新しい水産情報誌

明るい漁村

特集

輝く★若手漁師

Vol. **187**
2025. WINTER



山陰の冬の味覚は
やっぱり蟹!

CONTENTS

- 02 新時代を切り拓く!
熱き若手漁師100人衆
- 12 JFしまねの夜明け ～俺達の朝は早い～
- 18 新年のご挨拶 / 2025年初競り
- 19 第44回 島根県海の子絵画展開催
- 20 JF全国代表者集会&編集後記

Happy
new year!!

イメージキャラクター
とび丸くん





今回は、美保関支所～浦郷支所協力のもと45歳以下の若手漁師さん100人を一気にご紹介!! 水産業の次世代を担う若者の熱い思いを是非聞いてください!!

島根町支所



奥 広樹 (38)
神奈川県出身

- ① 一本釣り
- ② 大漁、値段がよかったとき
自分のペースで仕事ができること
- ③ 時化で思ったように海に出られないとき
- ④ 色々な漁法を取り入れて水揚げを増やしていきたい



有木 優斗 (26)
松江市出身

- ① 定置網
- ② みんなで楽しく仕事ができること
- ③ 朝が早い、体調管理
- ④ 網直しを上達させたい



小川 徳丸 (23)
松江市出身

- ① 定置網
- ② 魚の出荷量が多いとき
- ③ ロープの結び方や網の直し方などを覚えること
- ④ 船の操船や沖での仕事をしっかりとできるように頑張りたい



小川 真太郎 (38)
松江市出身

- ① 定置網
- ② 元々自然が好きなので、好きな魚を獲って生計を立てること
- ③ 朝が早いこと
時化や雨などで体力的に辛いこと
- ④ とにかく長くこの仕事がしたいので、無理をしすぎないように健康第一で頑張りたい



小川 蒼斗 (20)
松江市出身

- ① 定置網
- ② 周囲の人から扱いを褒められたとき
- ③ 指示を正確に理解し行動すること
- ④ 1つ1つの仕事を覚えて正確にこなしたい



小松 眞也 (32)
境港市出身

- ① 刺網・一本釣漁業
- ② 魚が沢山獲れたとき
- ③ 自然が相手なので、悪天候が続くと中々漁に出られないこと
- ④ 現状の許可漁業では非常に厳しいので、許可漁業の規制緩和を推進して欲しい



石倉 光 (36)
松江市出身

- ① 一本釣・採介藻
- ② 貝やイカが沢山採れたとき
- ③ 海が荒れたりなどの天候不良で長期間漁ができないこと
- ④ 新船を作ったので、より一層仕事に励んでいきたい



森脇 究 (36)
松江市出身

- ① 一本釣り・わかめ養殖・採貝藻・汽船引網
- ② 大漁した時や種から育てたわかめが無事に収穫を迎えたとき
- ③ 昨今のイカの不漁、それと併せての燃油高騰・物資の高騰
遊漁船の増加による漁場の圧迫
- ④ 新造船を作ったので今まで以上に漁業と向き合いたい。また、新しい漁法や養殖の勉強もしたい



船越 達彦 (37)
米子市出身

- ① 定置漁業従事・一本釣・採介藻・刺網
- ② 旬の魚を美味しく食べられること
- ③ 天候の影響を受けるので、中々思い通りにはならないこと
- ④ 効率よく作業が出来るようになるため、分身の術を習得したい(笑)

美保関支所



日熊 竜之介(22)
広島県出身

- ① 小型底引き網
- ② 普段釣れないような魚や、釣る魚でもとんでもなく大きい魚が見れるのでその時はとても興奮するので楽しい
毎日の内容も全然違うので飽きないこと
- ③ 1日の労働時間が長いので、連勤になると後半は体力的にきつくなること
常に危険と隣り合わせの仕事なので気を張らないといけないこと
- ④ まだまだ未熟なところが沢山あるので勉強し、先輩を見て学んでいきたい。
自分も人に教えられるように頑張っていきたい

恵曇支所



大塚 周(19)
松江市出身

- ① 定置網
- ② 魚が沢山獲れること
周りの方々が優しく指導してくれて毎日が楽しい!!
- ③ 一般的な仕事と違い朝が早いため起きるのに苦労
- ④ 漁業という仕事は難しく複雑な作業が沢山あり、覚えることが多いので、早く仕事を覚えて、一人前になれるよう頑張りたい



平井 元陽(27)
境港市出身

- ① 定置網
- ② 大漁だったとき
- ③ 網入れ
シケだったとき
- ④ 特になし



小坂 亮太(28)
松江市出身

- ① 定置網
- ② 自然と直接触れること。また、操業時に個々が役割を考え、声を掛け合いながら仕事をする時に強い繋がりを感じる
魚が多く獲れた時はお互いに喜び合い、チームとして大きな達成感を感じられること
- ③ 生活のサイクルがつかめず、寝不足や体調が優れないとき
時化で波が高かったりすると大きく船酔いをする
- ④ 日々の仕事に疑問を持ちながら臨みたいもっと仕事を覚えてもっと貢献できるようにしたい



八百 健太(29)
大阪府出身

- ① 定置網
- ② 大漁のとき
- ③ 朝が一番大変
- ④ 頑張りたい



小川 修司(29)
松江市出身

- ① 定置網
- ② 操業している最中に網の中を沢山の魚が泳いだりしている姿が見えたとき
- ③ 網の交換作業では、潮の流れが早い時や海が荒れている時は作業工程が増え時間が掛かり大変なこと
- ④ 長年にわたり定置網の仕事に従事していて、後輩を指導する立場になったので後輩の指導を続けていきたい



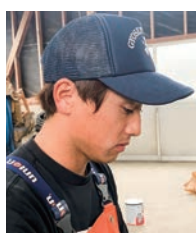
中川 恋(30)
大阪府出身

- ① 定置網
- ② 魚が沢山獲れたとき
- ③ 仕事内容を覚えること
- ④ 今後も漁業に関わっていきたい



小川 司朗(31)
松江市出身

- ① 定置網
- ② 地元住民や漁師との交流や繋がりができたとき
漁師仲間との協力を通じて一緒に苦労を分かち合って成果を上げ、大漁の時に仲間と喜び合えること
- ③ 重いものや力のいる作業があること
漁師は多くの知識や独特な技術があり覚えるのが大変なこと
- ④ 次の世代の漁師に技術を伝えていく中で、自身の健康管理にも気を付けて健康な状態で漁業の知識や技術を若い漁師たちに伝えていきたい



安達 裕平(29)
出雲市出身

- ① 定置網
- ② 知らない魚が網に入っているとき
- ③ 覚えることが多いので、覚えるのに苦労
- ④ 今年10年勤続なので、15年・20年と続けていきたい

平田支所



小川 守(38)
松江市出身

- ① 定置網
- ② 魚が多く捕れると従業員が喜びとともに網を引っ張り一体感が生まれたとき
- ③ 従業員時代だった時に叱られながら仕事を覚えたこと
代表の立場になると、現場仕事以外の苦労が多い
- ④ 地域の方や会社に関わる全ての方に対する感謝の気持ちを忘れない
漁業生産量の減少や漁獲規制問題が課題なので、少しでも人材を増やし、若者が漁師になりたいと強く思うような未来に向けて漁業振興に努めていきたい



藤井 元(31)
出雲市出身

- ① 定置網
- ② 獲れる魚が日々変わるのが面白い。また地元の漁協に携わり、県内外の人達に新鮮な魚を届けていると思うと嬉しいこと
- ③ 専門用語が多くて覚えられないこと
深夜帯に起床すること
- ④ まだ、一人前の仕事が出来ていないので、早く皆さんに認められる人材になりたい



山根 鉄馬(35)
出雲市出身

- ① 定置網
- ② 魚が沢山獲れたとき
漁業・魚に関する知識が増えたとき
- ③ 時化の日の漁業や沖での仕事
常に海上での状況を把握しないといけないこと
- ④ 今以上に水揚げに貢献できるように精進したい



石田 準(38)
出雲市出身

- ① 一本釣り
- ② 大漁した時にやりがいを感じ、達成感を得られたとき
- ③ 毎日が楽しいため、苦勞と思ったことがない
- ④ 日々勉強し、また新しい漁法をどんどん取り入れて、もっと水揚げができるようにしたい



竹本 翔太(31)
鳥取県出身

- ① 定置網
- ② 魚が沢山獲れ、海と触れ合えるとき
- ③ 仕事の内容が複雑で覚えることが山ほどあること
- ④ まだまだ、苦勞・覚えることも多いので先輩達についていき、追い越せるよう頑張りたい



山田 健人(33)
出雲市出身

- ① 定置網・一本釣り
- ② 水揚げによって売上げが変動するのでやりがいを感じる
- ③ 天候によって海に出られない日が続くこと
- ④ 今は定置網が主であるが、一本釣りの知識を深め技術の向上に努めていきたい



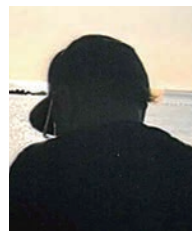
熱田 友和(27)
出雲市出身

- ① はえ縄
- ② 前夜から次の日に行く漁場を決め魚が沢山釣れたとき
- ③ 自然相手の仕事なので、思うように出港できないこと
魚の減少により、収入の不安定なことなど
- ④ もっと小伊津のアマダイを知ってもらい、沢山のの人に食べてもらいたい



吉田 悠紀(37)
出雲市出身

- ① 定置網
- ② やっていくうちに、自分自身の成長が感じられたとき
- ③ 入社当初の船酔い
- ④ 下の世代に覚えたことを継承していきたい



東 雄大(37)
出雲市出身

- ① はえ縄・一本釣り・潜り
- ② 全てを自分で決めれること
- ③ 船の修理代などの出費が掛ること
天候次第で、思い通りに漁に出れないこと
- ④ 家族孝行出来るように頑張りたい



野地 優希(26)
広島県出身

- ① 定置網
- ② 普段経験できないことを海の上で体験できたこと
- ③ 風と寒さに耐えること
- ④ 体調管理をしっかりして、仕事と生活をやっていききたい



郷原 亮大(36)
広島県出身

- ① 定置網
- ② 魚が沢山獲れた時に、船員同士で笑顔になれたこと
新鮮で美味しい魚を分け前で貰えたこと
- ③ 覚えることや技術的に難しいこと
夏場の外仕事は熱中症などの体調管理
- ④ 出来ること、覚えることを増やしもっと前線で仕事ができるようになりたい

大社支所



森元 英一朗(23)
岡山県出身

- ① 定置網
- ② 魚が沢山獲れたとき
- ③ 天候の変化
- ④ しっかりと作業を覚えていきたい



仲宗根 光平(20)
沖縄県出身

- ① 定置網
- ② 今まで、食べていた魚を苦労して獲って、食のありがたみも分かった
海の上は普段したことないことばかりで社会勉強できた
- ③ 人と時間帯が全然違う仕事なので、終わった後など暇を持て余すこと
獲れた魚が思っていた金額で売れないこと
- ④ 徐々に上にいけるように、人が気付かないところを気付けるようにしたい



森埜 雄太(39)
雲南市出身

- ① 定置網
- ② 海での仕事ができること
大漁のときや、珍しい魚が獲れたとき
- ③ 想像していたより覚えること、考えることが多い
海の状態で毎日作業内容が変わるので難しいこと
- ④ 早く一人前になれるよう努力したい



瀧倉 和樹(36)
松江市出身

- ① 定置網
- ② 色々な魚が獲れて面白いこと
- ③ 朝がとても早いこと
- ④ 色々なことを覚えて島根一の漁師を目指したい



川上 泰成(28)
出雲市出身

- ① 定置網
- ② 色々な魚を食べるとき
- ③ 網の直し方などを覚えること
- ④ 魚がどうしたら獲れるか考えていきたい



江角 祥平(40)
出雲市出身

- ① 定置網・一本釣り
- ② 新鮮な魚が食べられること。また、定置網をするようになり海の状況が常に把握でき、魚の動きが分かるようになったため、一本釣りを始めたところ、成果を出すことができたこと
- ③ 獲れる魚の種類が多く、大きさによって呼び名が変わる魚が沢山あり、覚えるのに苦労した
- ④ これから若い世代の人たちが漁師になりたいと思える楽しい職場作りをしていきたい。さらに、個人的に一本釣りを頑張りたい



月森 章文(35)
大田市出身

- ① 定置網
- ② 漁があったとき
- ③ 漁がなかったとき
- ④ 怪我をしないこと



梶谷 哲也(35)
出雲市出身

- ① 定置網・一本釣り・かこ
- ② 魚を獲って、魚がお金になる、シンプルが故に満足感や達成感のある仕事。美味しい魚が食べられたり、朝が早い分昼からが自由
- ③ 自然に左右されるから、予定が立たない
- ④ 先輩に教えてもらった技術を習得し若い世代に継承していきたい



渋谷 俊幸(33)
大田市出身

- ① 小型底曳網・採貝
- ② 月並みだけど、底曳網で豊漁あった日の喜び。また、特に夏場は、個人商売なので、アワビ、サザエが取れると、笑みが絶えない
- ③ 年々、アワビ、サザエの資源が減ること
- ④ 父が今、底曳網の船長だが、そろそろ引退を考えているので、それまでにしっかりと精進し父を越える様な船長になりたい

大田支所



浜 翔太(35)
出雲市出身

- ① 定置網
- ② 魚が獲れたとき
- ③ 不漁で魚が獲れないとき
- ④ 魚が大漁に獲れるよう努力したい

多伎出張所大社支所



土肥 駿介(28)
大田市出身

- ① 一本釣り
- ② 子供の頃から漁師に憧れていた
ので、父と一緒に漁に出て魚が沢山
獲れたとき
- ③ 漁法によって道具が違うので針
や疑似餌の結び方や作り方を覚
えるのに苦労した
- ④ いずれ船を持って自分一人で全
ての漁に出られるようにしていきたい



今田 悠介(33)
大田市出身

- ① 小型底曳網
- ② 大漁のとき
高級な魚が網の中に見えたとき
- ③ 朝が早いのできついとき
波が高いとき
- ④ 漁具を一人で作れるようになり
たい



品川 奏(35)
愛知県出身

- ① 小型底曳網
- ② 出漁して、船上での食事が美味
いこと
- ③ 長い時化の時の過ごし方
- ④ 日本一の漁師になりたい



福島 大輝(37)
江津市出身

- ① 大型定置網
- ② 魚が大漁だったとき
- ③ 冬の時化で漁に出ること
- ④ 美味しく食べてもらえるように鮮
度のいい魚を出荷していきたい



福島 利一(39)
江津市出身

- ① 大型定置網
- ② お客様から「美味しかった」と
フィードバックしてもらえるとき
- ③ 家族との生活時間帯のギャップ
を埋めること
- ④ 地域の水産業に前向きな変革を
起こし、明るい豊かな人生をみな
で実現したい



山口 克也(39)
大田市出身

- ① 小型底曳網
- ② 一日の漁を無事に終え、帰って優
しい妻と可愛い子供の顔を見ながらの
晩酌。豊漁だとお酒も増える!
- ③ 冬場に漁に出れないこと
時化が続くと給料が少なくなり、妻
に申し訳なくなること
- ④ 今は、船を持っていないが、い
ずれ自分で船を所有して一人で稼
げる漁師になりたい



丸山 卓哉(30)
大田市出身

- ① 小型底曳、一本釣り
- ② 一本釣りで一日の水揚げが10万
円を超えた時の仕切書を見たとき
- ③ 朝が早いこと
荒天が続く漁に出られないこと
で収入が減ったとき
- ④ 早く一本釣りで生計を立てたい



竹下 真太郎(26)
大田市出身

- ① 一本釣り・採貝藻
- ② 自然を相手に仕事をすることは
大変なことが多いが、やりがいがある
ので漁師になってよかった
- ③ 朝が早かったり、海の上では夏は
暑く冬は寒いこと
- ④ 温暖化で変わっていく環境に
対応し長く漁師を続けたい



山根 恭平(33)
大田市出身

- ① 一本釣り
- ② 水揚げの仕切書を見たとき
- ③ 朝が早いと、専門用語が多くて
分からないこと
- ④ 父親を超えたい



松浦 亜蘭(29)
大田市出身

- ① 小型底曳
- ② 休みが多くてお金がそこそこ貰
えること
- ③ 体が痛くなるとき
- ④ 魚がいっぱい獲れますように

浜田支所



澤田直斗(23)
浜田市出身

- ① 沖合底曳網(2そうびき)
- ② 給料をもらい、陸の仕事より沢山稼げることを実感したとき
- ③ 時化で船酔いしたこと
職場での厳しい上下関係
- ④ 経験を積み、今よりもっと上の立場で、責任のある仕事ができることを目指したい



本田 彰(40)
江津市出身

- ① 大型定置網
- ② 仕事の合間に素晴らしい自然を見ることができる
- ③ 朝早くから出港すること
日曜や祝日も漁に出ること
- ④ 若手の育成方法を工夫して教えていきたい



田中克海(26)
浜田市出身

- ① 沖合底曳網(2そうびき)
- ② 良い水揚げがあり、給料を沢山貰ったとき
- ③ 魚が網に入りすぎて作業が終わらず寝ることが出来なかったこと
漁場に着けば、昼夜関係なく仕事があること
身体に魚の臭いが染み付くこと
- ④ 鮮度の良い魚を持って帰り、浜田の魚をピカイチのブランドに押し上げ、全国の食卓へ届けたい



高橋 翼(21)
浜田市出身

- ① 大型定置網
- ② 残業がないこと
- ③ 毎朝早起きすること
- ④ 毎日休まず仕事を頑張りたい



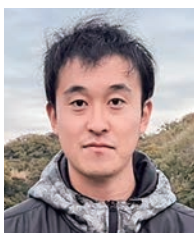
満田 成悟(34)
出雲市出身

- ① 中型まき網
- ② 色々な種類の魚を見れること
- ③ 陸と違って昼夜逆転の生活なので、慣れるまで大変
- ④ 仕事のスピードを早くできるように努力したい



水津 樹(28)
浜田市出身

- ① 中型まき網
- ② 魚が獲れたとき
- ③ 網が破れたとき
- ④ 怪我なく大漁したい



三浦 海斗(25)
浜田市出身

- ① 中型まき網
- ② 普段目にしたことのある魚から、ない魚まで獲れること
先輩方に教わり今では、魚の大半は捌けること
- ③ ロープの補修や新しく変える作業が大変
- ④ 来年には海技士免許を取得し、次期機関長となるので頑張りたい



馬庭 雄稀(26)
浜田市出身

- ① 沖合底曳網(2そうびき)
- ② 仕事を頑張って良い水揚げだったとき。
操業中の漁具のトラブルを先輩の力を借りずに、一人で解決できたとき
- ③ 家に帰れる時間が少なく、子供の成長を間近で見ることができないこと
電波が届かず、家族と連絡が取れないこと
厳しい指導を受け、心が折れたとき
- ④ 新しい漁場を開拓していき、不漁のときも魚を獲れる漁師になりたい



豊 丈尚(39)
大阪府出身

- ① 一本釣り
- ② 世界で一番広い職場(海)で試行錯誤しながら、自由に仕事ができること
- ③ 個人漁師は、毎月の給料が安定しないこと
- ④ 色んな漁法にも挑戦し、水揚げアップを目指していきたい



中山悠馬(22)
大阪府出身

- ① 沖合底曳網(2そうびき)
- ② 仕事で頑張って良い水揚げがあり給料を沢山貰ったとき
月休みに休日を満喫しているとき
- ③ 厳しい指導があったとき
漁に出ると、寝る時間が少ないこと
- ④ 仕事を全てマスターして、どんなトラブルにも対応していきたい
船員の安全を最優先し、事故を起こさないように作業していきたい



三浦 圭太(43)
益田市出身

- ①大型定置網
- ②季節ごとの様々な種類の魚を見れること。自分たちの漁獲した魚が地元のスーパに陳列してあるのを見て、地域に貢献していると思えること
- ③不規則な仕事なので生活のリズムを整えないといけないところ
- ④地元で定置網があること、シラスの原料の魚が獲れることを、地元の人達にもっと知ってもらいたい。また、若い人たちや子供たちに漁業について興味を持ってもらいたい



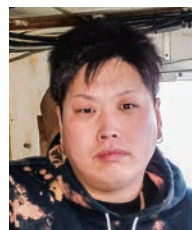
田畑 卓郎(38)
浜田市出身

- ①採介藻
- ②採れたての新鮮な魚介類を食べれること。海が大好きなので潜って魚を見ているだけで最高
- ③当初は水揚げも少なく苦労した
- ④漁師としては半人前なのでもっと水揚げできるように頑張りたい。これからも大好きな海を生業とできるようにしたい



石川 邦雄(39)
益田市出身

- ①大型定置網
- ②仕事仲間の人達と笑顔で仕事ができ、魚が大漁だったとき。魚価の高い魚が多く獲れその魚を美味しく食べるとき
- ③船酔いに慣れるまでが苦労。少しの時化の時でも操業するため、体調を管理しなければいけないこと
- ④まだまだ未熟で沢山の失敗をするが失敗を恐れず前向きに仕事に取り組んでいきたい



田野島 翔也(33)
浜田市出身

- ①沖合底曳網(2そうびき)
- ②若くても技術や知識を早く習得することで責任ある立場で仕事ができること
- ③自然相手の仕事で思い通りに魚が獲れないこと
- ④沢山の魚が獲れるように経験を重ねていきたい



大羽 圭一郎(44)
益田市出身

- ①大型定置網
- ②日々自然を感じながら仲間たちと漁に出て安全に操業行い、且つ魚が大漁だったとき
- ③予期せぬトラブルや危険をともなう仕事だから、日々の心配が絶えないこと
- ④益田市では漁業従事者が減少しているので、持続可能な漁業にしていけるために、自然を大切にしながら新しい事に取り組んでいきたい。



石井 悠太(32)
浜田市出身

- ①沖合底曳網(2そうびき)
- ②釣りが好きで漁師として仕事ができていること
- ③常に危険が隣り合わせの仕事でどれだけ注意していても予測不能な事故が発生すること
- ④船員の一人として、もっと戦力になれるように仕事に励んでいきたい



野村 義明(36)
奈良県出身

- ①大型定置網
- ②自然豊かな環境の中で仕事をしているときに、他の業種ではこのような感覚を体験できないこと
- ③不規則な仕事の為、体調を整えることが苦労している
- ④益田市の漁業の活性化のため、自分のような若い漁業者が頑張って持続させていき、次の世代にバトンを渡せるよう努力したい



大屋 海斗(23)
江津市出身

- ①沖合底曳網(2そうびき)
- ②魚が沢山獲れたときに収入が増えること
- ③船酔い
- ④沢山経験を積み、資格取得のために勉強を頑張りたい



竹内 真也(37)
益田市出身

- ①一本釣り
- ②魚釣りが好きなので、その好きな魚釣りが仕事として出来ること
- ③自然が相手なので自分が思うように魚が釣れないところ
- ④現状に満足せずもっと様々な事にチャレンジしていきたい



梅田 裕二(39)
益田市出身

- ①刺網・一本釣り・曳網
- ②子供に海、魚、船を身近に感じてもらえる機会を提供できること。自身で釣った魚が釣りかけられ、値が一番高かったとき。誰よりも大きい魚を釣ったとき
- ③魚を獲ったり釣ったりすることが好きで楽しいので、そこまで苦労することもない。いつか休み、というのが決まっていないうが、子供の行事や年に一度の旅行など、家族との時間を大切に休みの確保に努めている
- ④30年後も漁師でいること。みんなが驚くような大きい魚を釣りたい! 地球温暖化による海水温の上昇などの変化に対応しながら続けていきたい



山川 剛志(40)
隠岐の島町出身

- ① かご(ばい)・一本つり
- ② 大漁のとき
- ③ 船酔い
人手不足
- ④ 漁業衰退させない
働きやすい環境にしたい



岩佐 卓(37)
隠岐の島町出身

- ① 定置網
- ② いつでも新鮮な魚が食べれる
時期の魚が分かる
普段見れない大きな魚が見れる
- ③ 朝が早いこと
季節によっての温度差
網直し・仕立て
- ④ 定置網の構造を覚えて網の仕立てをできるようになりたい



谷口 健一(38)
隠岐の島町出身

- ① 採介藻
- ② 大漁のとき
- ③ ない
- ④ 今まで以上



山川 浩二(32)
隠岐の島町出身

- ① 定置網
- ② 季節の魚種が獲れること
毎日違う条件で仕事出来ること
- ③ 朝が早いこと
自然の中での仕事なので季節の変化により体調管理が大変なこと
- ④ 島の漁業の発展や、新しく漁業を始めようと思っている方の助けをしたい



花房 徹(31)
隠岐の島町出身

- ① 中型まき網
- ② 海技免状や色々な資格を取れるのでモチベーションアップにつながる
- ③ いくつになっても学ぶことが多い。新人船員への指導や関わり方
- ④ 新人船員の育成に力を入れて頑張っていきたい



吉田 佑樹(30)
隠岐の島町出身

- ① かご(ばい)・ずわいがに
- ② 歩金をもらったとき
漁獲した物を食べた人の笑顔
- ③ 休日が取りにくい
- ④ 大漁したい



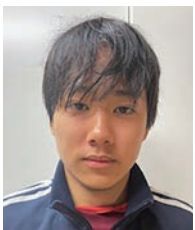
新納 廉(23)
大阪府出身

- ① 中型まき網
- ② 冬場は、休みが多く好きなことができる
- ③ 人が休むと若い人にしわ寄せがいくこと
- ④ 船長として、覚える事、やるべき事がまだまだ沢山あるので頑張っていきたい



斉藤 嵩起(37)
隠岐の島町出身

- ① かご(ばい)・ずわいがに
- ② 歩金をもらったとき
- ③ 常に苦労している
- ④ 笑顔で頑張りたい



高梨 翔(21)
隠岐の島町出身

- ① 中型まき網
- ② 冬時期の休みが多いこと
- ③ 問題があった場合は労働時間が長いこと
- ④ 誰が休んでもカバー出来るようにしたい



竹本 鉄平(35)
隠岐の島町出身

- ① かご(ばい)
- ② 大漁したとき
- ③ 時化に漁をするとき
- ④ 怪我なく安全に気をつけたい



多賀橋 知生(22)
出雲市出身

- ① 中型まき網
- ② 色々な魚を見たとき
ボーナスを貰ったとき
- ③ 網が破れたとき
失敗して怒られたとき
- ④ 魚を沢山獲って稼ぎたい



堀井 翔希(24)
静岡県出身

- ① 中型まき網
- ② 努力の仕方と考え方を学べたこと
- ③ 力や体力が無かったので、考えて、
今の作業を出来るようにしたこと
- ④ 網直しや網の仕分けを出来るようにしたい



山本 翔也(21)
隠岐の島町出身

- ① 中型まき網
- ② 見たこともない魚を見た瞬間
- ③ 昼夜逆転の生活
- ④ 怪我なく安全に仕事をして出世したい



林 亮太(29)
西ノ島町出身

- ① 中型まき網
- ② 仕事を自分で出来・理解できるようになった時にやりがいを感じ楽しさを感じる
- ③ 作業の大変さに加え、気温や天気などの自然による影響が大変。特に夏は自身での体調管理が重要
- ④ まだ、経験や知識が乏しいので、先輩方に作業や理屈、考え方を教えてもらい、漁師として成長していきたい



一色 大和(22)
愛媛県出身

- ① 中型まき網
- ② 網の中に大量の魚が入っていたとき。
自分の欲しいものを沢山買えるところ
- ③ 覚えることが沢山あること
大きな声を出さないといけないこと
- ④ 海の上で分からないことがないくらい仕事を覚えたい



西谷 真之介(23)
広島県出身

- ① 中型まき網
- ② 魚が沢山獲れたとき
獲った魚を「美味しい」と言って食べてもらえるとき
- ③ 生活が昼夜逆転すること
肉体労働だから疲れる
- ④ 魚を沢山獲り会社にとって必要な人材になりたい



牧野 晃大(20)
隠岐の島町出身

- ① 中型まき網
- ② 魚を獲るとき
- ③ 体調を整えること
- ④ どんな仕事でも出来るようにしたい



下村 優輝(23)
奈良県出身

- ① 中型まき網
- ② 知らない魚を見る事ができたこと
魚が沢山獲れたとき
美味しい魚を食べること
- ③ 昼夜逆転の生活
船酔いをしたこと
時化している時の舵持ち
- ④ 知らない事が沢山あるので、覚えていきたい
苦手な事にも前向きに頑張りたい



中筋 海翔(19)
出雲市出身

- ① 中型まき網
- ② 人に仕事を聞かれて、漁師と答えると感謝されること
- ③ トラブルがあったとき
夏の暑い時期
- ④ ミスをなくして他の仕事を早く覚えたい



佐々木 辰昭(29)
隠岐の島町出身

- ① 中型まき網
- ② 体力・スタミナが付いた
普段使わないロープ等の縛りが日常で役に立つ
海の生物が詳しくなる
フェリーが苦じゃなくなった
- ③ 根性で頑張ったので、疲れが溜まった。
服や体に魚の匂いが付いて取れない。
本船だった時、上から魚が降ってきて頭に当たって痛かった
- ④ 怪我や体調不良にならないように頑張りたい



杉山 赴之(38)
埼玉県出身

- ① 延縄・採介藻・イカ釣り
- ② 大漁だったとき
単価が良かったとき
- ③ 予報が外れ、時化してきたとき
潮が読めなかったとき
- ④ 水揚げを安定させたい



小島 直城(38)
埼玉県出身

- ① 定置
- ② 色んな魚が食べられること
イルカ・マンボウを見れたとき
- ③ 船酔いや海が時化てる中で作業が大変
- ④ 今の時代にあったやり方を模索し、
提案していきたい



扇谷 丈史(36)
西ノ島町出身

- ① 岩牡蠣養殖
- ② 育てた牡蠣が順調に大きくなったとき
食べてもらった人や出荷先から評価を貰ったとき
- ③ 予想以上にカキの食害が酷かったとき
- ④ 養殖だけでなく、様々なことのスキルアップを図りたい



平田 颯(28)
島根県出身

- ① 中型まき網
- ② 自分で仕事をして、獲れた魚を新鮮な状態で食べられること
目に見えて魚が獲れるので達成感がある
- ③ 魚が獲れることが無く網が破れること
業界用語が聞きなれない
- ④ 失敗も成功も色々経験して成長していきたい



木角 允也(28)
長野県出身

- ① 岩牡蠣養殖、一本釣り
- ② 自然相手の仕事なので目まぐるしく変化する環境に翻弄されながらも、人間の本来らしい生活が送れていること
- ③ 海での安全管理・道具の扱い
- ④ 先輩方の教を学ぶ姿勢を忘れない時代と環境の変化に対応した、自分らしい操業の形を見つけたい



渡辺 優(37)
大阪府出身

- ① 中型まき網
- ② 旬な魚・新鮮な魚が食べられること
冬は時化休みが増え、自分・家族の時間が増えること
- ③ 昼夜逆転
日本海の冬の寒さ
船員さんの方言
- ④ 若い世代が増えてきているので、先頭に立ち、引っ張っていける存在になりたい



戸田 卓也(36)
愛知県出身

- ① 一本釣り
- ② 潮や魚の習性を考えながらポイントを選び大漁したとき
魚を出荷し、高値が付いたとき
- ③ 潮が悪く魚がクチを使わないとき
海が時化なとき
- ④ 水揚げを安定させ、年間水揚げ額を増やしたい



渡邊 翔(23)
鳥取県出身

- ① 中型まき網
- ② 職業欄に漁師と書くこと
皆で獲れた魚を食べるとき
- ③ 夜眠い時に起きること
- ④ 出来ることの幅を広げ、色んな人に頼られる人になりたい



下廣 凌雅(20)
知夫村出身

- ① 一本釣り
- ② 魚が毎日食べれること
- ③ 天候に左右されること
収入が不安定
- ④ 漁師だけで生活したい



松尾 翔平(35)
島根県出身

- ① 延縄、イカ釣り、素潜り漁
- ② 大きな魚が釣れたとき
大漁だったとき
- ③ 燃料費高騰
- ④ 未来につなぐ資源管理したい

JFしまねの夜明け

俺達の朝ははやい

PROFILE

有限会社 事代丸
第八事代丸

船長 牧野 進

生年月日：平成6年8月23日

出身地：隠岐の島町

趣味：ゲーム

好きな食べ物：どんちっち(あじ)の刺身

休日の過ごし方：ショッピング&ドライブ



私達が、普段様々な新鮮なお魚を食べられるのは、漁師さんの活躍があってこそ!!
そこで、今回は、5組の若手漁師さんの活躍をピックアップ!経験や努力により養われる技術で美味しいお魚を届けてくれる漁師さんの活躍ぶりを、どうぞご注目ください!!

漁業とは最初は分からないところから それが年数経って分かるから獲れる喜び

最初は中型まき網2ヶ統を

経営する有限会社事代丸第八事代丸船長の牧野進さんにインタビュー。牧野さんの祖父、故牧野勝治さんは、全国的に名声を馳せた名漁労長であり、父牧野勝さん、第二十八泰平丸の現役No.1漁労長!!そんな二人の背中を見て育ち、保育園の頃から漁師になりたいと強く思っていた進さんは、19歳の時に、船長代理を1年経験。その後、20歳で、抜擢され第八事代丸船長として活躍をしています!

4代続く歴史の深い有限会社事代丸・牧野さんにお話を伺いました。

——漁業種類とその魅力について教えてください

まき網です。

乗組員は50〜60人ぐらいですね、

船が14隻あるんで(本船×1、灯船×5、運搬船×1、これが2セット)それで人数多いんですよ。全員それぞれの船に分かれて作業してまずね、人がいないとできないんで。平均年齢が40〜45くらいで、自分30ですけど若い方です。一番若いのは19がいますし、上で言ったら70近い人もいます。真ん中ちよつと上が多いですね。

魅力は「網打尽」ですね、200〜300トンを一気にとるところ!

——漁師の日の過ごし方について教えてください

今は、午前3時に起きてご飯と風呂に入り、4時から出航。その間何も食べずに7時くらいに操業終わり、10時に帰宅しますね。特に冬は夜の時間が長いから仕事の時間が長いけど、夏は6時に出て10時か11時に帰るので短めですね。

休みは、風が強い日、波が2.5m以上だったら休み、予報見て事前に決めることもあれば、出航直前操業中に決まることもあるね。

——漁師になって苦労したこと教えてください

人間関係は苦労しますよ。年上に対しては年下に対しても、言葉使いはすごい大事ですね。

上から目線できつく言っても誰もついてこないんですよ。同じ目線に立って、たまにはガツって言いますけど、なんでも言い方だと思えますよ。自分は指揮官じゃない、一緒に仕事してる仲間って意識が大事。逆に自分の親父はきつい言い方してますし、自分がそんな感じでやっても誰もついてきませんもんやっぱ。上の人からしたら息子が何言ってるのってなるじゃないですか。効率がいい方法ないかなって自分の中で考えて、ここに行き着きました。

——漁師になってよかったと思う瞬間を教えてください

よかった...大漁したときですね。そう思うけど、最初は苦労の方が多い。結局分からないところからなんで、どうやって魚が獲れるのか分からなかったんですよ。だから楽しくなかったです、船の操縦は楽

しかったけど。

それが年数経って分かってきて、最近ようやく獲れた、よかったっていう、感じになってきましたね。従業員が喜んで盛り上がりつつあるの見て嬉しいなって。

——今後の抱負をお願いします

うーん、今以上に魚を獲ることより、事故無く安全第一に操業することを考えていきたいですね。海のうえたから救急車も来れないんで、昔からずっと怪我だけはって、それでも毎年2、3人骨折れるとか指とれるとかありますから。

——読者に向けてメッセージをお願いします

一緒に水産業頑張っていきたいでしょう!



次に有限会社共幸水産
第一千鳥丸船団の漁撈長
代表取締役の平木哲也さんに
インタビュー!!

平木さんの父の平木操さんは、
(有)共幸水産の前社長ですが、
哲也さんは、社長の息子という
肩書きを捨て、下積み時代を乗
り越え、38歳という若さで父か
ら共幸水産を受け継ぎ見事社長
に就任されました。次代を創る
若き社長にお話を伺いました。

——漁業種類とその魅力に
ついて教えてください

漁業種類はまき網。魅力は
やっぱり規模が大きいこと。他の
漁業種より魚が獲れる量も多いし、
船も大きくて迫力があるからね。

——漁師になりたいと思った
きっかけを教えてください

高校は卒業後すぐ漁師になろ
うと思って隠岐の水産高校に、そ
の後には親の勧めもあって静岡の

東海大学に入学しました。

大学行ったら漁師よりも違う
水産関係就きたいなと思い始め
て、築地で2年半働いてました。

でもまき網を家業でやってい
たこともあり、漁師をやりたいっ
ていう気持ちもずっとあったん
で覚悟を決めて帰りました。父親か
らは、社長の息子っていう立場と
か、仕事の内容とかしんどい部分
が沢山あるぞって言われました
けど、それでも。

——漁師(社長の息子)として
苦労したことを教えてください

築地から帰ってすぐ父親から
は、社長の息子だからって特別扱
いはしないし、一般船員と同じこ
とをしても認められないぞって言
われて、雑用から始めました。給
料は一番下、掃除をしたり、当時
の漁労長や船長、先輩船員にコー
ヒー淹れたり。一番最初に来て、
一番最後まで残って仕事をするっ
ていうのを、ちょうど半年ぐらい

続けたかな。睡眠時間が1〜2時
間しか取れなくて、意識が飛びそ
うになったり、実際倒れたことも
あったけど、人の2倍、3倍やる
のが普通だと思っていたし、自分
が好きな仕事だったから頑張れ
ましたね。

それよりも苦労したのは、前漁
労長が引退して、自分が28歳のと
きに次の漁労長を任されたとき
かな。経験も実力もない中でどう
にか結果を出さないとイケないっ
ていうのが大変だった。

現場を任せられ始めたころは、
沢山失敗して水揚げが落ち込ん
だ時期もあって、実力の差を数字
で見せつけられたときは本当に
しんどかった。魚が獲れなくて歩
金が減って、船員の雰囲気が悪く
なったりとか、実際お金が少なく
からやめるって人もいたね。

一生懸命頑張っても魚は獲れ
ないし、悪循環で雰囲気が悪くな
るしでしんどかったな。

——漁師になってよかったと
思う瞬間を教えてください

最近船員に若い子が増えてきて、
みんなが楽しんで仕事をしてくれ
ているときかな。きついこともあつ
たり、色々堪えながらも、うちの
会社をよく思ってくれてたり、頑
張って水揚げを上げようと思っ
ている人が増えて結果も出てきて
ていうのが、良かったなって思っ
た。

——今後の抱負をお願いします

漁師として、隠岐で一番の水揚
げをしたいっていうのは勿論あり
ます。それとよく船員みんなに、
いい会社にしよって言ってます。
漁師だけ漁師に見えないような
誰がみてもいい会社にしていき
たい。しんどい仕事も沢山あるけ
ど、会社をよくして、みんなが
思いをしようって。若い子たちも
どうやってこの会社をよくしてい
こうかって前向きに考えて、雰
囲気がよくて仕事しやすいとか、
とにかくいい会社にしていきたいな。

——読者の方へメッセージをお
願います

水産関係の仕事をしている以
上、やっぱりうちだけじゃなくて、
みんなが水揚げを上げていけた
らいいなと思ってます。

隠岐、島根の水産業をみんな
で盛り上げていって、仲買さんもJF
の職員の人たちも漁師も、みんな
がよくなれるようにしていけれ
ばいいかなと思います。

この仕事が好きだから 人の2倍、3倍 努力するのが当たり前



PROFILE

有限会社 共幸水産
第一千鳥丸船団 漁撈長

代表取締役 **平木 哲也**

生年月日:昭和61年4月18日

出身地:西ノ島

趣味:釣り

好きな食べ物:魚(主にサバ)

JFしまねの夜明け

俺達の朝ははやい

PROFILE

御津大敷網組合
第十五御島丸

漁労長 小笹 伸一郎

年齢:37歳

出身地:御津生まれ。

趣味:M.F.Fで保育所や学校に行き
出前授業をすること

好きな食べ物:ハンバーグ

次は、出雲編です！今回は、御津大敷網組合と大社大敷吉川さんにインタビューしてきました。まずは、御津大敷網組合です。御津大敷網組合は乗船員8名で地元の美味しい魚を届けています！！初めに、御津大敷網組合漁労長船長小笹 伸一郎さんにお話を伺いました。

——漁師になりたいと思ったきっかけを教えてください

もともと祖父や父が漁師をしていて、よく言われたのが、地域の基幹産業や地場産業をなくしてはいけないっていうことでした。父やその周辺からも漁師を勧められて、地域貢献だったり、地元を元気にしたい思いから漁師になりました。

——漁師になって苦労したこと、嬉しかったことを教えてください

当時は、若い人がいなくて、話も合わないけど、拘束時間が短く楽だなという感覚しかなかった。でも、今後に不安を感じ、そこから自分の思いを言ったが、昔からだからって言われ続けて…。教えてもらえることも少なく苦しい。どうしたらいいのって思ったね。さすがに、このままじゃいけないと感じて、身近な義理の兄に声をかけたんだ。同じような世代の人間が一番大事だからさ。どんどん年取っていく人たちが

の中で仕事をして自分の代になったときどうしよう、漁業がでないかもしれないという危機感で若い人を集めるようにした。他の仕事より、ちゃんと仕組みができていないところがあつて最初は愕然としたけど、やれば目に見えて成果が出てくるのを感じた。だから、他の子にもやり方次第ではすごくいい結果に繋がると言っている。これが、結構響く人も多くてさ、今は周りにも恵まれて人材も豊かになってきた。この人たちと一緒に仕事することでもまた違う人と出会って、小中学生新しい世代に漁業を伝えていけることはやりがい、人と人が繋がっていくのも嬉しい。

また、子どもの頃を見てた子が小学生と対話をしているのを見たり、保育所に行ったりするんですけどその子たちと触れ合っている姿を見ると嬉しい。漁業を通じて繋がっていると感じる。

漁業を通して繋がっていくのと、水揚げもちゃんと上げられるようになってきて地域の皆さんに喜んでもらえることがやりがいになって、漁業をして良かったなと思います。

——今後の抱負をお願いします

僕自身は漁労長という立場で年間の水揚げだったりとか、仕事の進め方とか特殊な部分ではあるんですけど、ちゃんと結果を出

これが、

御津大敷網組合の乗船員6名だ!!

——質問——

- ①趣味 ②好きな食べ物 ③きっかけ
④漁師をやってみて ⑤今後の抱負

中村 貴人(38歳)
片岡出身

- ①酒、温泉
②蕎麦、肉
③約10年間警備員として働き、その後漁労長の紹介で漁師になった。
④仕事はどれも大変。自然を相手にする仕事だから、操業とか沖仕事とか大変で苦労するけれども、自分が獲った魚を両親・地元の人に配ることが出来ることは漁師をやった良かったと思う。
⑤漁業の仕事はこの先も続けていきたい。また、若い人が増えてほしい。

藤原 成樹(35歳)
木次町出身

- ①M.F.Fで魚を捌くこと
②カレー
③漁労長と同じ会社で、ずっと繋がりがあった転職を考えていた時に、漁労長に相談したら、その日面接し御津に移住し、漁師になった。
④兄弟や地域の人に捌いた刺身をあげて美味しいと言ってもらえること。また、苦労したことは、早寝早起きが苦手な自分には朝早い仕事が多かったこと(泣)
⑤船の修理担当だから、船が壊れないように点検を今後もやっていきたい。

尾島 徹哉(37歳)
忌部町出身

- ①サッカー、ドライブ、釣りなど
②ハンバーグ、コロッケ、カレーライス
③居酒屋で店主に仕事を探していると話したら、漁労長を紹介してくれた。実際に船に乗り、仕事の戦場っぽさ、地域の人たちの温かさを感じ漁師になろうと思った。
④沢山の魚がある時は、何回も出るの辛いけど、出荷で魚を載せたトラックが走っていく時に大漁を実感し、嬉しい気持ちになる。波が凄いに、網が破れる時もあるのでちゃんと網持つことには苦労した。
⑤子どもからかっこいいと思われるようにやっていきたいし、笑顔を大切に頑張りたい。

漁業をしつかりやること 僕のやらなければならないこと

していくこと。結果だけでなく、漁業を誰でもなれる職業にしていきたい。そこは自分自身の課題だしミッシヨンだと思っているので、やれることも沢山あるしやりたいことも漁業を含めて色々ある。

漁業を介して色々な人と出会って、色々なことを経験したので、漁業にも恩返しができたら良いなと思う。もちろん、地元にもしっかり恩を返せるようにしたい。そのためにまずは漁業をしつかりやるのが僕のやらなければならないことだと思っています。

あとついてきてくれた人達が漁業をやってくれた人達の結果になれるといいなと思っています。

—— 読者に向けてメッセージをお願いします

僕らの御津大敷は転職者ばかりで、漁師に対しては素人集団です。すけど、素人集団に何ができるのかっていうのは、消費者から漁業をしているということなので他の漁業者さんとは違う視点なのかなと思っています。どうしたら消費者の方に美味しい魚が食べもらえるかな届けられるかなという目線で漁業をする集団に



なっています。将来的には御津大敷の魚を食べたいなと思ってもらいたいし、やっぱり御津大敷の魚は美味しいよねって言ってもらえるように、鮮度保持、僕らで言うところの活け放血です。船の上で処理をするんですけど、そういうお魚の処理だったりとか、仕事って言うものに対しての取り組み方だったり、漁業に対する取り組みだったりを素人集団ながらきちんと考えて研究してやっていきたいと思っています。

これから「御津大敷」っていう名前が沢山のみなさんに聞いてもらえるように頑張っていきたいと思うので、よろしくお願いします。

長野 大輝 (21歳)
古江出身



- ①釣り
- ②ラーメン
- ③仕事を探しているとき、漁労長を紹介されて、説明を受けてやってみようと思った。
- ④最初は、朝が早くて起きるのも大変だった。また、船酔いも凄くて不安もあったが、今は慣れて何ともない。
- ⑤これからずっと漁師を続けていきたい。大変なことも沢山あるがその中で楽しさもあり、それを忘れずに頑張っていきたい。

長野 魁斗 (18歳)
古江出身



- ①写真撮影、魚を捌くこと
- ②いか
- ③家族の繋がりがりから漁労長の紹介で漁師になった。
- ④最初は、バイトも経験がなく、年齢も差があり、船の上で大変だなんて思ったが、だんだん慣れてきてやりがいや挑戦して出来たという喜びが嬉しい。
- ⑤井上さん(2年前ぐらいに引退し漁労長の師匠的存在)という手が届かないような存在なんですけど、ゆくゆくはそんな風になりたい。

細井 了太 (32歳)
雲南三刀屋町出身



- ①野球スポンサーのコーチ
- ②蟹
- ③介護士していたがそこで、夜勤もあり子供が小さいこともあって、転職を考えていた時に漁労長に勧められて興味があったので仕事と家庭の両立のため漁師になった。
- ④魚を頂いて帰ることもあり、とれたての魚を食べた瞬間は、漁師をやってよかったと思う。
- ⑤苦労していることは、まだ入ったばかりで覚えることが沢山あること。コツコツと地道に努力している段階。
- ⑥もうすぐ1年経つが、怪我無く元気で、特に大きな病気もなかったので良かった。だけど、自然相手の大変な仕事だから、今後も怪我無く元気に気を付けていきたい。

JFしまねの夜明け

俺達の朝ははやい

PROFILE

株式会社 大社大敷

漁労長 吉川 芳雄

生年月日:昭和59年9月15日

出身地:大社

趣味:車いじり

好きな食べ物:イワシ

休日の過ごし方:家族とキャンプ



次に株式会社 大社大敷の漁労長、吉川 芳雄さんにインタビュー!!

吉川さんは、22歳で船に乗り、32歳という若さで漁労長に大抜擢!

先代の漁労長にも負けずに一心不乱に頑張る吉川さんにお話を伺いました。

自分たちの力で変えられるってことが
一般的な社会人より大きい

——漁師になりたいと思ったきっかけを教えてください

何にもないすよね。もともと畑違いの仕事しててハローワークで次の仕事探してる時にほんの何の気なしに入ってみた感じですね。前は土建業から運送業から飲食店におつたし、色々なこととしてましたよ。なんでね、なるうと思っただけもなくて、軽はずみで乗ったんすよ(笑)当時世界観も分からなかったけど何の躊躇もなく、面接してすぐ採用で、それで今に至るって感じかな。こう聞かれると、こうだ!って理由があるとかっこいいんですけど…。恥ずかしいなあ(笑)

——漁業種類とその魅力について教えてください

定置網漁ですね。魅力はそうだな、漁場が近いから船が苦手な人でも乗りやすくて比較的安全なこと。他の漁業種と比べてずっと海にいるってこともないし、実際事故も少ないからね。それと魚は何か獲れるか分からないから不安とドキドキがあることかな。(宝箱を開ける感じに近い)。

逆に言えば陸上での作業時間が多いね。網のメンテナンスをしたり、魚の仕分け・出荷作業をしたり。入ってくる魚にもよるけど魚に触れている時間自体は多いですね。魚の仕分けして、仕事終わって日もあるし。家に毎日帰れて、家族がいる人も乗りやすいことがやっぱりメリット。

——漁師になって苦労したこと教えてください

一番は人の苦労かな。一般的な社会と違って中々新しい人が入ってこないから、人材不足って面もあるけど、人材を育てていくこと、これが特に難しい。10代、20代、30代みたいな年齢構成なら、それぞれの子に教えて育てていくけど、それぞれ年齢が離れてしまつとそうはいかない。こっちが下の子に気を使ってるつもりでも、逆効果なこともあるから。作業自体ももちろんしんどいことはあるけど、常に考えさせられるのはそういったこと。自分だけじゃなくて、10人全員楽しく仕事できないとだめだから、そこが一番大変。

それと、大雨の流木とか海とは関係の無いことが最近多くなっているのと、自然との戦いもきついね。

——漁師になってよかったと思う瞬間を教えてください

魚を一番獲ったときかな。昔よりも獲れるようになったときと、ほかの船よりも沢山獲れたとき。やつとる以上は一番でいたいからね、乗組員の励みになるじゃないすか、苦労もあるけど成績がよかつたら、やって良かった、自分たちのやり方は間違ってた、自分たちで思えるから。自分たちの力で変えられるってことが一般的な社会人より大きい。

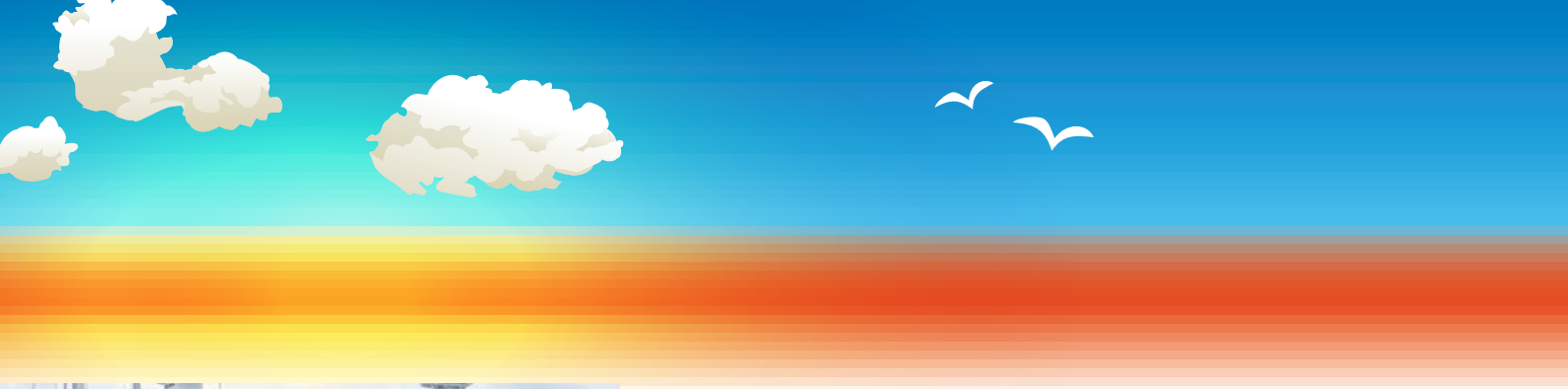
——今後の抱負をお願いします

若い子を雇っていくことと、一番になることが目標かな。今うちはその定置より浅いところでやってるんで、今後水温の低い深いところをやるとか、そういう変化に対応していかないといけないんで若い子を雇って…、水揚げのため人のため、両方が上手くいくようにしていくことかな。

——読者に向けてメッセージをお願いします

仲買も読むとのことと、お休みの話ですけど、仲買と漁業者が息を合わせて、若い子たち向けにもっと親密になれたらいいなと思いますね。今はみんな休みがバラバラで、仲買が少ない日は魚が安いから、だったらうちの若い子も休ませられたのになとか思うからね。そういった連絡・連携が出来たらいいな。なかなか各市場力レンダーが違うから難しいけど、各地区で連携が取れるといいかな。





PROFILE

河瀬 貴博

生年月日: 昭和52年12月29日
出身地: 平田
趣味: バイク、ゴルフ
好きな食べ物: 魚(特に甘鯛干物)
休日の過ごし方: 仲間と飲み

誰にも負けない漁師に！ 新たな挑戦・技術を磨き 実力勝負

編集後記

このたびは、お忙しい中、インタビューにご協力くださり誠にありがとうございます。沢山の漁師の方にお話を聞き、大変勉強になりました。漁業に関して知識がない中取材させてもらいましたが、皆さん丁寧にお話してくださり本当に感謝しています！

(P・N・W・A)

最後は、河瀬 貴博さんにインタビュー!!
個人漁師さんは苦勞の連続…。だが、独自の技術や新たな挑戦に挑み続け今では、誰にも負けない強みを持ち活躍している河瀬さんを研修の時間にお世話になった、浜田支所の高木支所長と一緒に話を伺いました。

——漁師になりたいと思ったきっかけを教えてください
父親が漁師で、漁師の道しかなかった。後継者ではないけど、後を継がんとはいけなかった。

——漁業種類とその魅力について教えてください
メインが採介藻、クエ縄、アマダイ縄などよりは延縄だね。魅力ねえ、比較的魚価がいいよ

ねえ。魚価もいいし自分の実力で売り上げが変わってくるのが魅力かな。

——漁師の1日の過ごし方を教えてください
風の日は、朝8時半から14時ぐらいに戻って、家でちょっと休憩、17時くらいからクエ漁行ったりかな。17時から出ると23時ぐらいに帰って寝て、3時半ぐらいに起きる。それから市場行って、朝ご飯を食べてって感じの繰り返しだね。忙しいわけではないけど、まあ風の日はちょっと忙しいかもしれないね。

——漁師になって苦勞したこと教えてください
ほぼ毎日じゃない、今イターン・リターンの子見とるし、楽をし

たことが一切ないし、個人漁師をやったうなかで楽をした人はおらんと思うよ、やっぱり魚価が安い時もあれば、高い時もあるし、魚がとれなかったりとなったり…。いろんな面で、みんな苦勞してるけん。

——漁師になってよかったことを教えてください
初めの頃だった一人で行けるようになった時とかは良かったと思うけど、今はもう常に負ける相手がいらないんで、今売り上げでは誰にも負けないんで別に、やったって思う瞬間もうないですね、技術とみんながしないこととどんどんやるけん、ほんと毎日挑戦みたいなんもんだけんね漁師なんか。

——今後の抱負をお願いします
特になんないけど、まあいつも通りかなって感じ。いやだってほかにないもんね、何にもない、あんま考えんのよ、思いついて行動するけん、抱負とか全然ない、思い立ったらすぐする感じ。

自分の生活の場なんで放流事業と磯焼け対策は一生懸命やっていきたい。



新年明けまして おめでとうございます

新年の ご挨拶

漁業協同組合JFしまね
代表理事会長 岸 宏

組合員皆様方には、輝々しい新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

本年は、私共「漁業協同組合JFしまね」が平成十八年一月一日に当時、極めて厳しい経営状況にあつて、県下二十一漁協が、大同団結し合併、四月一日には島根県漁連、島根県信漁連を包括承継して名実共に県一漁協として発足以来、二十年目の記念すべき節目の年であります。

当組合は合併以来、「組合員所得の向上」を目標に「組合員役職員の理念の共有化」「組合員、役職員間の平等化」「経営基盤の強化」を三つの柱に、事業を推進してきた結果、これまでに組合員各位のご協力のもと①組合員、役職員の共有意識の醸成②県下十六市場を六市場に統合、施設整備③市場統合に対応する購販売事業体制の再構築④販売手数料、燃油価格・魚価の再構築⑤合併時持込欠損金の解消と組合員への利益還元を実現する等いささかなり共、組合員皆様方の負託に応えることが出来

たと考えます。

しかしながら近年の社会経済情勢の変化は極めて流動的、厳しいものがあり、当面する新しい課題も多く、未だ道半ばであります。

合併二十周年の節目に当り、これまでの成果と反省を真摯にふまえ、JFしまねの将来展望を確かなものにするため、引き続き「組合員所得の向上」を目標に「担い手漁業者育成」「浜の構造改革」「販売等事業改革」を国・県・市等の諸般の施策を積極的に導入活用しながら、「挑戦」を合言葉に、ゆるぎない信念とたゆまざる努力をもって、役職員一丸となつて着実に課題を解決したら、各般の事業を積極的に展開すること、飛躍の年にしたいと思ひますので組合員、関係各位の更なるご協力お願い申し上げます。

「若手漁師100人衆」の情熱と行動力によって島根県漁業が大きく飛躍することを期待します



2025年 初競り



JFしまね 浜田支所式典の様子

新年あけましておめでとうございます。

私事ではございますが、昨年暮れの役員改選におきまして、理事長という大役を仰せつかりました。微力ではありますが、組合員の力を借りながら浜田の魚をより一層広めていく事を中心に組合運営に取り組んでまいります。

本年もよろしくお願いいたします。



浜田魚商協同組合
理事長 山本 秀幸 さん
(有) 大秀商店代表

あけましておめでとございます。
今年も1月5日・6日の早朝、新年の初競りがありました。各支所でJFしまねの職員達の掛け声が市場を賑わせました。
初競りに先立つ式典では、当組合の岸会長が挨拶を行い新年に向けたスタートを切りました!!



【高学年の部】
出雲市立北陽小学校6年
小椋梨愛

画題「漁業」

魚の跳ねる音、水しぶきが見ている側にも届いてきそうな臨場感あふれる作品。網からドサッと出る取れたばかりの沢山の魚、ふんばったおじさんの姿勢と表情などが特に印象的で、まさに活気溢れた「漁業」を表現する作品



【中学年の部】
松江市立鹿島東小学校4年 金崎 颯太
画題「いっぱいつれたよ魚釣り」

「いっぱいつれたよ魚釣り」というタイトルながら、陸にあがった魚ではなく、自分が釣った魚が海で泳いでいた時の様子を想像して描いた作品。魚の描写、特に目の描き方が生き活きとしており、釣り上げた魚をよく観察し、丁寧に心を込めて描いた素晴らしい作品



【低学年の部】
松江市立法吉小学校1年
加藤燦翔
画題「ダイオウイカ」

ダイオウイカという普段見ることのできない生き物を、自分の想像力や感性を大事にして描いているところが良い。色あざやかな色調でダイオウイカの躍動感や生命力を巧みに表現し、見る側を楽しませてくれる素晴らしい作品



今年もJFしまねをよろしくお願いします。



JFしまね 松江魚市場



JFしまね 境港支所



JFしまね 大社支所



JFしまね 大田支所

〈各支所の初競りの様子〉
新年から美味しそうな魚が沢山獲れています!!

JF全国代表者集会参加

去る令和6年12月4日、東京都内において開催されたJF全国代表者集会に、JFしまねから13名が参加した。

来賓を合わせおよそ1,000人もの参加者となり、大変な熱気の中プログラムに沿って開会の挨拶からJF綱領の唱和、主催者及び来賓者の挨拶と紹介が行われた。

JFグループの運動方針を提案・意見表明した後、採択が行われ、会場の拍手をもって承認された。その後特別決議についても拍手にて承認され、閉会となった。



編集者
セレクト!!

漁業協同組合JFしまね会長賞

① 出雲市立荘原小学校2年
河瀬寛太

「うみのいきものとぼくの家ぞく」



③ 出雲市立塩冶小学校5年
柳楽颯斗

「海の世界」



② 出雲市立大社小学校4年
手銭朋之介

「おだやかな海」



④ 出雲市立四絡小学校4年
園山咲幸

「とび出すマグロ」



編集 後記

新年あけまして

おめでとうございます!!

昨年は、広報誌「明るい漁村」をお読みいただきありがとうございました。

皆さまからご好評を頂き、引き続き私達新入職員が担当することになりました!!

沢山の方にお読み頂けて広報誌班一同大変嬉しく思います!!

第187号明るい漁村は、「若手漁師」についての特集でした。

普段接する機会がない漁師さんとの交流は、私達にとっても貴重な体験になりました。

私は、漁師とは大変な仕事だと最初は思っていました。しかし、漁業者さんの声を実際に聞いて、厳しさだけではなく、楽しさややりがいにも満ちていること。また、魚離れが嘆かれています。

今、魚の大切さを学び、「美味しい魚を食べて欲しい」「魚を食べることは大事だ」という熱い思いに感銘を受けました。

今回の明るい漁村を通して、読者の皆様

が魚を食べる大切さについてご参考になれば幸いです。

末尾になりましたが、今回ご協力頂きました皆様には心より感謝申し上げます。

海上で行う仕事のため、危険な事は多いですが、皆様の安全をお祈り申し上げます。

と共に今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

本年も広報誌「明るい漁村」をよろしく

お願いいたします。

(P・N・I・A)